

(科目名) 簿記原理基礎編	担当教員：松本 紗矢子	2単位		
<table border="1"><tr><td data-bbox="137 215 260 253">設 題</td><td data-bbox="260 215 1473 1727"><p data-bbox="229 286 679 320"><提出方法：インターネット提出></p><p data-bbox="229 376 802 409">次ページ以降の仕訳問題のすべてを解くこと。</p></td></tr></table>			設 題	<p data-bbox="229 286 679 320"><提出方法：インターネット提出></p> <p data-bbox="229 376 802 409">次ページ以降の仕訳問題のすべてを解くこと。</p>
設 題	<p data-bbox="229 286 679 320"><提出方法：インターネット提出></p> <p data-bbox="229 376 802 409">次ページ以降の仕訳問題のすべてを解くこと。</p>			
作成方法は、パソコン				
注意事項	<ul data-bbox="272 1765 1473 1919" style="list-style-type: none"><li data-bbox="272 1765 1473 1854">WordやPDFファイルで保存してインターネット科目試験ページから提出。次のページからレポート課題、および解答欄を載せている。解答欄については自分で作成し、解答を入力したものを提出すること。<li data-bbox="272 1854 1473 1919">数字については、学習プリントに記載の通り、3桁ごとにカンマをつけること。 (例) 1,000,000			

簿記原理基礎編 2026年度レポート課題

仕訳問題

次の取引を仕訳しなさい(商品取引は三分法によること)。

1. 北海道(株)は、青森(株)から商品180,000円を仕入れ、現金100,000円を支払い、残額は掛けにした。
2. 北海道(株)は、商品150,000円を岩手(株)に売り上げ、代金は掛けとした。
3. 北海道(株)は、商品10,000円をクレジット払いの条件で販売した。なお、信販会社への手数料(販売代金の1%)は販売時に計上する。
4. 北海道(株)は、青森(株)から掛けて仕入れた商品100,000円のうち、30,000円を品違いのため、返品した。
5. 北海道(株)は、秋田(株)に商品20,000円を売り上げ、代金は、同社振出の小切手で受け取った。
6. ①期中に、現金の帳簿残高が25,000円であるが、実際有高を調べたところ、24,000円であった。
② ①で生じた、現金の不足額を調べたところ、600円は、通信費の計上漏れであることがわかった。
③決算において、現金過不足が借方に400円あるが、原因が不明なので処理をする。
7. 北海道(株)は、青森(株)に対する買掛金200,000円を支払うため、小切手を振り出して支払った。
8. 北海道(株)は、青森(株)から商品300,000円を仕入れ、代金は約束手形を振り出して渡した。
9. 北海道(株)は、青森(株)に対する買掛金200,000円の支払いを電子債権記録機関で行うため、取引銀行を通じて、債務の発生記録を行った。
①北海道(株)の仕訳を行いなさい。
②青森(株)の仕訳を行いなさい。
10. 北海道(株)は、上記9の青森(株)に対する電子記録債務200,000円について、取引銀行の当座預金口座から青森(株)の取引銀行の当座預金口座に払い込みを行った。
①北海道(株)の仕訳を行いなさい。
②青森(株)の仕訳を行いなさい。
11. 北海道(株)は、取引銀行に借入金120,000円を返済し、利息とともに現金で支払った。なお、利息は、年利率2%で、借入期間は、8カ月である。
12. 北海道(株)は、青森(株)に現金60,000円を貸し付け、約束手形を受け取った。
13. 北海道(株)は、青森(株)から倉庫用の建物を900,000円で購入し、代金は月末に支払うこととした。
14. ①北海道(株)は、青森(株)に商品30,000円を注文し、内金として、10,000円を現金で支払った。
②北海道(株)は、青森(株)から商品30,000円を受け取り、代金のうち、10,000円は注文時に支払った内金と相殺し、残額は掛けとした。
15. ①青森(株)は、北海道(株)から商品30,000円の注文を受け、内金として10,000円を現金で受け取った。
②青森(株)は、北海道(株)に商品30,000円を渡し、代金のうち10,000円は注文時に受けとった内金と相殺し、残額は掛けとした。
16. ①従業員の出張のため、旅費交通費の概算額150,000円を現金で前渡した。
②出張中の従業員から、当座預金口座に60,000円の入金があったが、その内容は不明である。
③従業員が出張から帰り、先の当座預金口座への入金60,000円は得意先から売掛金を回収した金額であることが判明した。
④従業員が出張から帰り、概算払額150,000円のうち、旅費交通費として120,000円を支払ったという報告を受け、残額は現金で受け取った。
17. ①北海道(株)は、従業員が負担すべき生命保険料12,000円を現金で立て替えた。
②従業員に支払う給料300,000円のうち、先に立て替えた12,000円と源泉徴収税額10,000円を差し引いた金額を現金で支払った。
③預り金として処理していた源泉徴収税額10,000円を税務署に現金で納付した。
18. 北海道(株)は、店舗の賃借にあたって、敷金200,000円を現金で支払った。

19. 決算日において、売掛金の期末残高50,000円について、2%の貸倒引当金を設定する(差額補充法によること)。なお、貸倒引当金の期末残高は、800円ある。
20. 北海道㈱は、建物1,500,000円を購入し、代金は月末に支払うこととした。なお、購入にあたっての登記料10,000円、仲介手数料20,000円は現金で支払った。
21. ×3年3月31日、北海道㈱は、当期首(×2年4月1日)に購入した建物900,000円について減価償却を行う。なお、減価償却方法は、定額法(耐用年数30年、残存価額はゼロ、間接法)による。
22. 増資のため、株式1,000株を1株あたり2,000円で発行し、全株式の払い込みを受け、払込金額は当座預金とした。
23. 決算の結果、法人税、住民税及び事業税が100,000円と計上された。なおこの金額から中間納付額60,000円を差し引いた金額を未払い分として計上した。
24. 北海道㈱は、岩手㈱より商品220,000円(税込価額)を仕入れ、代金は現金で支払った。なお、消費税率は10%である。
25. ×2年3月31日、決算日(当期:×1年4月1日~×2年3月31日)につき、次期の家賃を前払処理する。なお、北海道㈱は、×1年11月1日に家賃300,000円(1年分)を支払っている。

以上

仕 訳 問 題

解答用紙

学籍番号 _____ 氏名 _____

※以下、すべての解答用紙の上部余白に学籍番号と氏名を入力すること。

※解答欄は仕訳の内容にかかわらず、あえて同じ幅にしている。各自、仕訳の量によって解答欄の幅を調整してよい。たとえば一行の仕訳なら狭くしてもかまわないし、同じ幅のままでもよい。

		借方科目	金額	貸方科目	金額
1					
2					
3					
4					
5					
6	①				
	②				
	③				
7					
8					

学籍番号

氏名

		借方科目	金額	貸方科目	金額
9	①				
	②				
10	①				
	②				
11					
12					
13					
14	①				
	②				
15	①				
	②				

学籍番号 _____ 氏名 _____

		借方科目	金額	貸方科目	金額
16	①				
	②				
	③				
	④				
17	①				
	②				
	③				
18					
19					
20					
21					

学籍番号 _____ 氏名 _____

22				
23				
24				
25				